

2017年1月5日

24時間連続稼働*1が可能な全天球ライブストリーミングカメラを開発 ～開発キット「[RICOH R Development Kit](#)」として2017年春出荷開始予定～

株式会社リコー(社長執行役員:三浦善司)は、24時間連続で360°の全天球ライブストリーミングが可能となるカメラ「RICOH R Development Kit」を開発し、2017年春に出荷開始を予定しております。

全天球動画のライブストリーミングは、そのコンテンツ面、動画の制作システム、配信、再生環境面(VRヘッドセット普及度を含む)において未完成的な分野です。しかし、これまでリコーはさまざまなパートナーと全天球ライブ配信実験を行い、そのポテンシャルは非常に大きいと考えております。

「RICOH R Development Kit」は、リコー独自の全天球映像技術を活用し、2K解像度で30fps(フレーム/秒)の全天球ライブストリーミングを可能にします。全天球映像の標準フォーマットであるEquirectangular Projection Formatへの合成は、カメラ内でリアルタイムに行われます。映像はHDMI®またはUSBにより出力され、ACアダプターを使用し24時間の連続稼働が可能です。薄型・軽量ボディでありながらマイクロSDカードへの映像記録が可能です。

360°の全天球ライブストリーミングはエンターテインメント以外にもテレプレゼンテーション技術*2やコンピュータビジョン*3の分野など幅広い活用が期待されております。そのため、リコーは本製品を用途開発向けの開発キットとして出荷する予定です。なお、本製品のプロトタイプは、2017年1月5日より米国ラスベガスで開催される、民生機器テクノロジー産業界の関係者が参加する世界最大規模のイベント「CES2017」に出展いたします(ラスベガスコンベンションセンター、サウスホール2階 ブース番号26717)。

詳細はこちら: <http://ricohR.ricoh>

*1. ACアダプター使用

*2. 自分が現存する空間とは別の空間にあるものを、あたかも直接体感しているかのような高い臨場感を持って遠隔操作などの体験ができる技術。

*3. コンピューターに取り込む生の画像データを処理し、必要な情報を取り出す技術。



RICOH R Development Kit *4

*4. この画像は 3D CG のため、商品とは細部が異なる可能性があります

- HDMI は、HDMI Licensing, LLC. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載の会社名および製品名は、それぞれ各社の商号、商標または登録商標です。

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、ドキュメントマネジメントシステム、ITサービス、プロダクションプリントソリューション、ビジュアルコミュニケーションシステム、デジタルカメラ、産業用製品・サービスなどを世界約200の国と地域で提供するグローバル企業です(2016年3月期リコーグループ連結売上は2兆2,090億円)。

創業以来80年にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能社会の実現への積極的な取り組みを行ってきました。

想像力の結集で、変革を生み出す。リコーグループは、これからも「imagine. change.」でお客様に新しい価値を提供していきます。

より詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <http://jp.ricoh.com/>